$oxed{1}_{xy}$ 平面において、次の式が表す曲線を C とする。

$$x^2 + 4y^2 = 1$$
, $x > 0$, $y > 0$

PをC上の点とする。PでCに接する直線をlとし、Pを通りlと垂直な直線をmとして、x軸と y軸と m で囲まれてできる三角形の面積を S とする。Pが C上の点全体を動くとき、Sの最大値とそのときの Pの座標を求めよ。

 $\boxed{2}$ xy 平面において、3 次関数 $y = x^3 - x$ のグラフを C とし、不等式

$$x^3 - x > y > -x$$

- の表す領域をDとする。また、PをDの点とする。
 - (1) P を通り C に接する直線が 3 本存在することを示せ。
 - (2) P を通り C に接する 3 本の直線の傾きの和と積がともに 0 となるような P の座標を求めよ。

 $oxed{3}$ サイコロを 3 回投げて出た目の数を順に $p_1,\,p_2,\,p_3$ とし、x の 2 次方程式

$$2p_1x^2 + p_2x + 2p_3 = 0 \quad \cdots \quad (*)$$

を考える。

- (1) 方程式(*)が実数解をもつ確率を求めよ。
- (2) 方程式 (*) が実数でない 2 つの複素数解 α , β をもち、かつ $\alpha\beta = 1$ が成 り立つ確率を求めよ。
- (3) 方程式 (*) が実数でない 2 つの複素数解 α , β をもち、かつ $\alpha\beta$ < 1 が成 り立つ確率を求めよ。

a>0 を実数とする。 $n=1,2,3,\ldots$ に対し、座標平面の3点

$$(2n\pi, 0), \quad \left((2n+\frac{1}{2})\pi, \frac{1}{\{(2n+\frac{1}{2})\pi\}^a}\right), \quad ((2n+1)\pi, 0)$$

を頂点とする三角形の面積を A_n とし、

$$B_n = \int_{2n\pi}^{(2n+1)\pi} \frac{\sin x}{x^a} dx, \quad C_n = \int_{2n\pi}^{(2n+1)\pi} \frac{\sin^2 x}{x^a} dx$$

とおく。

(1) n = 1, 2, 3, ... に対し、次の不等式が成り立つことを示せ。

$$\frac{2}{[(2n+1)\pi]^a} \le B_n \le \frac{2}{(2n\pi)^a}$$

- (2) 極限値 $\lim_{n\to\infty} \frac{A_n}{B_n}$ を求めよ。
 (3) 極限値 $\lim_{n\to\infty} \frac{A_n}{C_n}$ を求めよ。

- t>0 を実数とする。座標平面において、3 点 $A(-2,0), B(2,0), P(t,\sqrt{3}t)$ を頂点とする三角形 ABP を考える。
 - (1) 三角形 ABP が鋭角三角形となるような t の範囲を求めよ。
 - (2) 三角形 ABP の垂心の座標を求めよ。
 - (3) 辺 AB, BP, PA の中点をそれぞれ M, Q, R とおく。t が (1) で求めた 範囲を動くとき、三角形 ABP を線分 MQ, QR, RM で折り曲げてでき る四面体の体積の最大値と、そのときの t の値を求めよ。

 $k \ge 2$ と n を自然数とする。n が k 個の連続する自然数の和であるとき、すなわち、

$$n = m + (m+1) + \cdots + (m+k-1)$$

が成り立つような自然数mが存在するとき、nをk-連続和とよぶことにする。 ただし、自然数とは1以上の整数のことである。

(1) n が k-連続和であることは、次の条件 (A)、(B) の両方が成り立つことと 同値であることを示せ。

$$(A) \quad \frac{n}{k} - \frac{k}{2} + \frac{1}{2} は整数である。$$

- (B) $2n > k^2$ が成り立つ。
- (2) f を自然数とする。 $n=2^f$ のとき、n が k-連続和となるような自然数 $k \ge 2$ は存在しないことを示せ。
- (3) f を自然数とし、p を 2 でない素数とする。 $n=p^f$ のとき、n が k-連続和となるような自然数 $k \geq 2$ の個数を求めよ。